

## 沖縄本島の魚類養殖状況視察

八重山支庁農林水産振興課 安井理奈

### 1. 目的

八重山での魚類養殖も、試行錯誤しながらなんとか形になってきた。が、ほとんどの養殖業者は石垣内の魚類養殖しか知らない。他地区での魚類養殖を視察することも今後の参考になるのであろうとのことから、また、養殖魚の流通についても関心が高いことから今回、沖縄県本島地区の養殖、流通について視察を行った。

### 2. 日程および交流先

平成15年12月8日～12月10日

12月8日

石垣発伊江島へ。

伊江島の魚類養殖施設視察及び  
地元漁業者と意見交換。

12月9日

本島北部のクビレツタ養殖施設視察。

ヤイトハタ卸売り業者へ挨拶及び情報交換。

12月10日

糸満の卸売り業者の加工施設視察。

県漁連に挨拶及び意見交換。

帰島

### 3. 参加者

八重山漁協魚類養殖部会

仲田森浩 上間康弘 下地 清 西里政晃

(補助があったのは2名だが、なるべく大勢に他所の状況も見せたいとの養殖部会の意向で、部会の予算も使って4名の参加となった。)

### 4. 協力機関

県庁水産課 水産業普及センター北部駐在

### 5. 交流内容

伊江島魚類養殖場

- ・ 養殖生け簀は1名16基まで。現在100基程度の生け簀が設置されているが、まだ新規就業者を受け入れる余地はあるとのことだった。養殖希望者が多いため、1名あたり原則として4基までの八重山に較べると、養殖への関心は薄いのだろうか。
- ・ 伊江島ではヤイトハタの他、スギ、タマン、アイゴ等かなり個人々々が自由に好きな魚を養殖しているようだった。
- ・ イリドウイルス症の状況について関心を寄せていたが、伊江島ではまだ発生していないとのことだった。
- ・ ヤイトハタにスギ用配合飼料を与えている人もいた。なかなか好調とのこと、八重山の漁業者も関心を寄せていた。  
しかし、スギ用配合飼料は普段給餌しているマダイ用に較べて脂質含有量が高く、ヤイトハタはあまり脂質を必要とする魚種ではないため、高脂質の飼料を与え過ぎると魚は太るが、免疫力が落ちる可能性があるとの専門家からのアドバイスもあり、使用には注意が必要である。

北部クビレツタ養殖

石垣でも始まったクビレツタ養殖場を何力所か北部駐在所に案内してもらった。

補助金をあてにせず手作りの施設で養殖に取り組む姿にはパワーを感じた。

## 6. 雑感

- 1) 尾数の把握、餌料の把握、生け簀の管理、死魚処理の徹底など、「養殖業というのは本当はこうやらなければいけないんだ!」「こういうのが本当は当たり前なんだ」という状態の養殖場を視察させたかったが、予算、時期の関係で実現しなかった。
  
- 2) 視察等の人選にあたり、ハッキリ言うと、年寄りを連れていってもただの旅行で終わりそうなのでなるべく若い人を選んで、その結果いつも同じ人が視察に行ってしまうがちだが、今回あまり視察に行ったことがないおじいさんを連れて行ったら、最初は遠慮していたが非常に楽しかったようで、帰島後も何度も視察の話をしていた（曰く（漁してても、視察の時の伊江島の兄さんの話を思い出して一人で笑うさー」とのこと）。別の意味で視察の効果があったと思う。今後も視察があればなるべく「いつもの人」ばかりでなく、あんまり出かけたことのない人も引っ張り出すようにしたい。